クラフトサークル６月定例会は
３年ぶりのガラス玉づくりの講習を実施しました。

飛鳥歴史公園館の前にはヒョウタン等のツル性植物で木陰もできていました。

まず、机に黒い板を敷くことから準備作業をスタート、トレーにガスバーナーとガス、ガラスを巻き付ける金属の棒、紙やすり、離型剤、ダスター、作業用の眼鏡。黒の仕切り版はガスの炎を見やすくするためです。慣れた先輩の指示で、てきぱきと揃えてセットしていきました。３年前はよく見ていなかったので次回にはお手伝いできそうです。

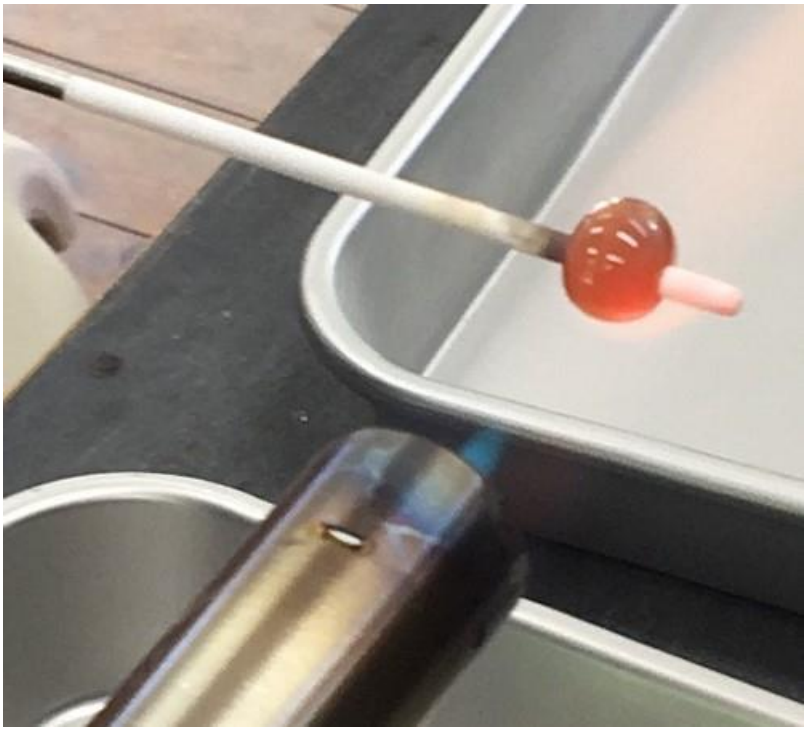
先輩が皆に器具の使い方の注意や作り方の指導をしてくださいました。

まず金属の棒についた錆・汚れ等を紙やすりで綺麗に掃除してツルツルにしておきます。そのあとその棒の先に離型剤のビンに浸け離型剤を付着し、ガスバーナーの熱で乾燥しておきます。

次にガラスの棒を炎の遠くから少しずつ温めて一番熱くなる炎の中心にまでガラスの棒を持っていきます。この時、離型剤のついた金属の棒も一緒に温めます。**初めからガラスの棒を熱い炎に入れると割れて飛び散り危険です。**だから眼鏡をつけておきます。はじけたガラスのかけらは素手でさわってはいけません。怪我だけではすまなくなります。ガラスの小さなかけらが体内入ると大変危険です。

ガラスが溶け出したら離型剤のついた金属棒を温めながらガラスが溶けて落ちてくるのを待ちます。そして金属の棒に巻き付けて行きます。

ガスバーナーの炎に当てながら溶解したガラスのついた金属棒を回して形を整えます。
その時、金属棒は水平でないと丸くならずに涙型等になってしまいます。

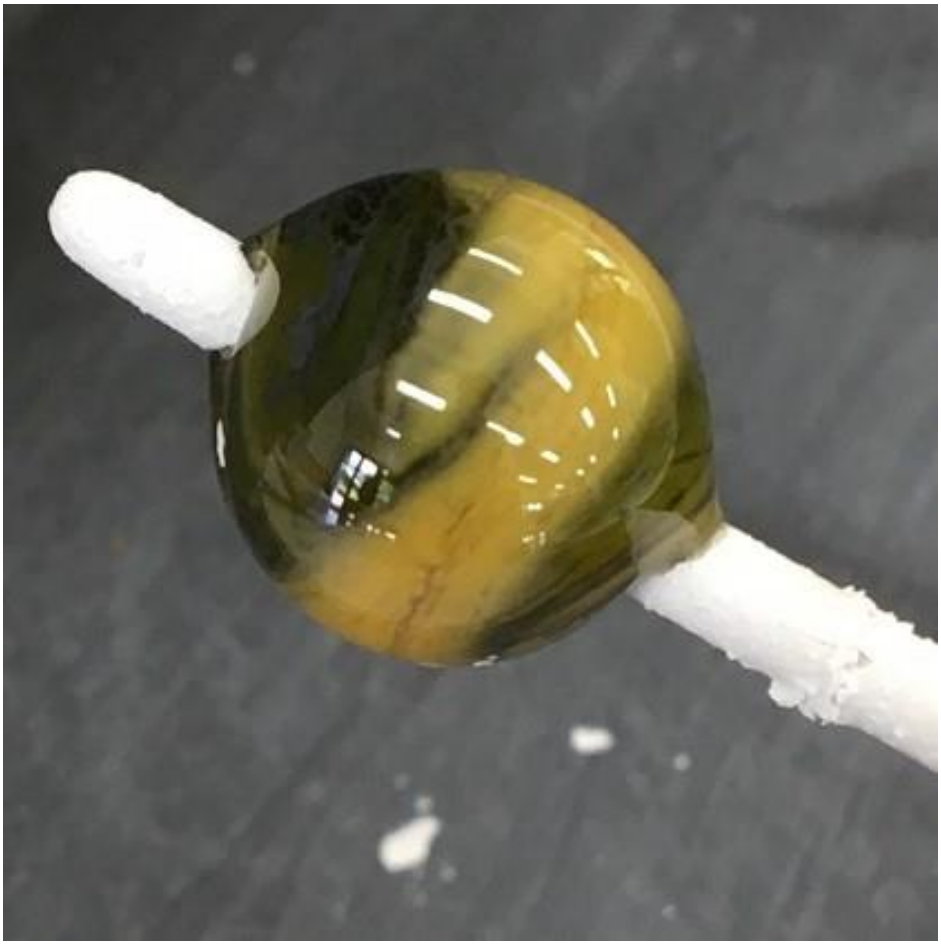


形が整えば少しずつ炎から離していきます。ゆっくりとガラスの温度を下げていきます。
すぐに炎から外すと温度の急激な変化でせっかく完成したガラス玉が割れてしまします。

右端のガラスのかけらとがっていますね。危険です！素手でさわらないで！！
真ん中のオレンジ割れていますね。温度調整がうまくいかなったのですね。
青も上手く形が整えられなかったようです。

これは玉を大きくするためにまたガラスを溶かして巻き付けようとしていますね。

そろそろ皆さん、沢山出来てきました。



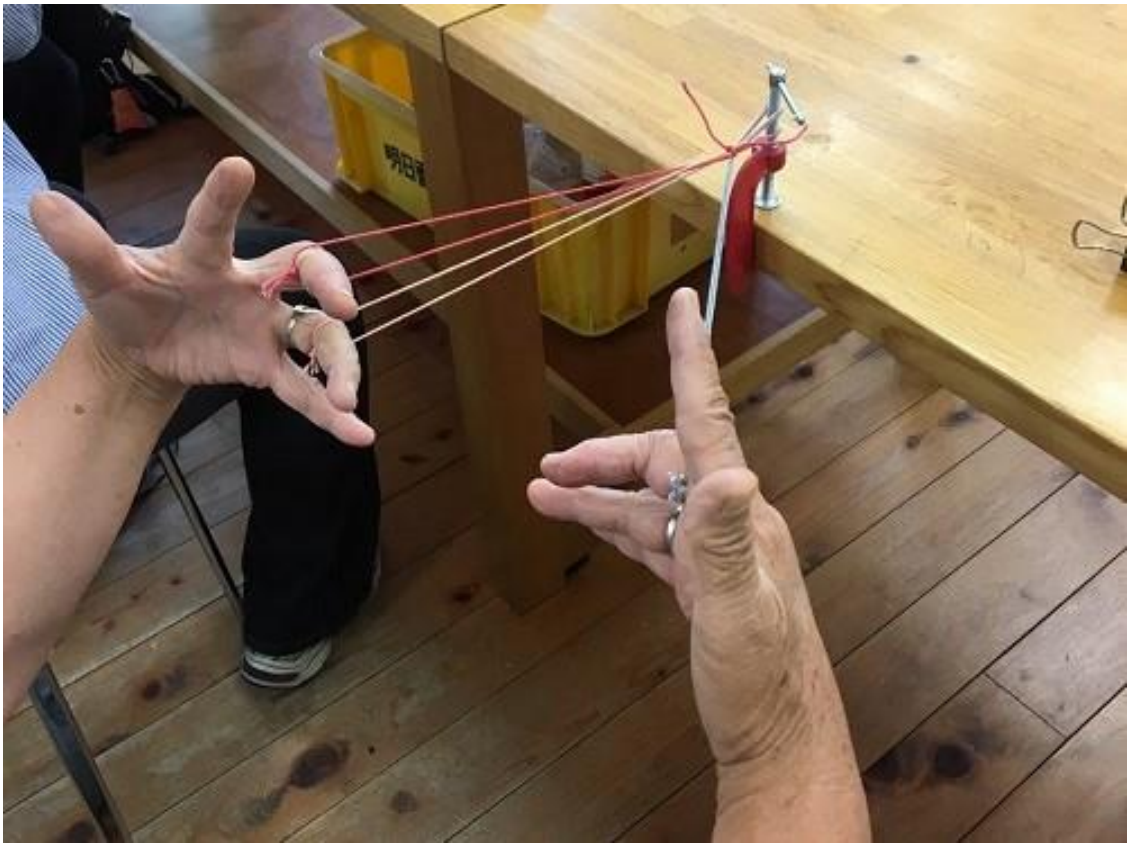
凄い大きな玉。二色ですね綺麗です。

皆もくもくと作業。昼休みも皆さん食べたら休憩もそこそこに作業していました。

さすが、教えてくださった人の玉は大きくて綺麗です。
以前に作られた作品の中に今回の分が増えました。

ガラス玉作成の後、指編みの講習会をしてもらいました。女性の皆さんは一生懸命聞いて制作されています。

丁寧にわかりやすく教えてくださいました。



男性が両手を貸してくださいました。

編みあがったものを写真とりわすれていました。これも楽しかったです。

持っていた勾玉に合うものをと作った方もいました。
どうですか？綺麗なガラス玉が沢山できました。
このガラス玉づくりは飛鳥歴史公園の飛鳥古代体験プログラムで体験することができます。
飛鳥歴史公園館にお問い合わせください。（10 名～20 名の団体受付）
https://www.asuka-park.go.jp/cms/wp-content/uploads/programinfo.pdf